2018年8月25日（毎月5・15・25日発行）兵庫保険医新聞 （昭和43年6月12日 第三種郵便物認可 （年間購読料12000円）） 号外【1】

# 兵庫県保険医協会
# 但馬支部ニュース

No.155　　2018年8月25日発行

発　行　兵庫県保険医協会但馬支部
連絡先　〒669-5346　豊岡市日高町伊府６６０
谷垣医院 TEL/079-644-0010　FAX/079-644-0706

**但馬支部第32回総会記念講演**

## 「高齢者の口腔ケア」
## ～医科歯科介護連携にも触れて～

**医療・介護・福祉の各分野から20人が参加**

但馬支部は8月5日、但馬長寿の郷（養父市）にて第32回支部総会を開催。総会議事で、2017年度の活動まとめと2018年度の活動方針を採択した（**3面参照**）。

記念講演では「高齢者の口腔ケア～医科歯科介護連携にも触れて～」をテーマに、神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科教授の足立了平先生が講演し、会員医師・歯科医師のほか市民ら20人が参加した。（**2面に感想文を掲載**）。

また同日、歯科医療安全管理対策研修会・新点数懇談会を開催し、協会副理事長の足立了平、川村雅之各先生が講師を務め、歯科医師23人が参加した。

# 感　想　文

酷暑の中、来但、ご講演していただきました。医科・歯科・介護関連、また一般市民の方にご参加いただきました。

内容は、歯の本数と健康寿命、要介護でいる期間や口腔機能と虚弱との関連性、義歯の装着の重要性、震災の話から口腔ケアによる誤嚥性肺炎予防等、非常に密度の濃い内容でした。

質疑応答では参加の市民の方から「口腔内の乾燥で非常に悩んでいる。どうしたらいいか？」との質問がありました。足立先生と、聴講されておられました協会副理事長の川村雅之先生お二人から懇切丁寧なご回答、アドバイスがありました。

講師の神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科教授　足立了平先生

但馬地区は兵庫県の中でも超高齢化社会です。医療関係者も市民の方も直面している最重要課題のひとつです。今回の内容は、多くの分かりやすいデータをご提示していただき、咀嚼できることが健康寿命に大きく関わること、口腔ケアと誤嚥性肺炎、いろんな意味で患者様に情報を提供でき診療にも還元できる内容でした。

また、当日の午前中には、今回の歯科診療報酬改定された施設基準を満たすために必要な歯科医療安全管理対策研修会・新点数懇談会が開催され、足立先生、川村先生にご講演いただきました。今回は鳥取県からも多数の先生方が遠路はるばるご参加くださいました。但馬の地は道路事情もよくなりつつあります。他府県からの参加者が今後とも増えることを望んでいます。

**【美方郡・やまだ歯科医院 山田 真義】**

# 幹事会だより

**7月28日（土）日高地区公民館で第173回幹事会を開いた（2人出席）。以下、主に議論された内容を報告する。**

- 「他科を知る会」は、「救急医療」シリーズの第2回を9月15日に開催予定。
- 日高医療センターの建て替え問題について、眼科機能の移転などを含む見直しが新たに検討されている。地域医療を守る観点から引き続き注視が必要。

**※幹事会は、会員の先生あればどなたでもご参加いただけます。お問合せは、担当事務局山下（TEL：078-393-1840）まで。**

## 兵庫県保険医協会但馬支部役員　敬称略（2017年7月～2019年6月）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 支部長 | 谷垣　正人（豊岡市） | | 古澤　倫代（美方郡） |
| 副支部長 | 藤井　高雄（豊岡市） | | 馬庭　幸二（朝来市） |
| 幹事 | 森　　和夫（養父市） | | 山田　真義（美方郡・歯科） |
| | 坂本　健一（朝来市） | | 由良　徹也（豊岡市・歯科） |
| | 野田　昌男（豊岡市） | | 吉田　仁志（豊岡市） |
| | 長谷川正宜（豊岡市） | 顧問 | 谷　　尚（養父市） |
| | | 名誉支部長 | 新田　　誠（豊岡市） |

## 2017年度活動報告

1、第31回支部総会記念講演（7/23）では、「地域包括ケアと地域医療のありかた～どうなる但馬の医療・介護・福祉～」をテーマに佛教大学社会福祉学部教授：岡﨑祐司先生が講演、会員ら27人が参加した。総会議事では、2016年度の活動まとめと2017年度の活動方針が採択され、役員改選で支部役員、評議員が選出された。

2、シリーズ企画「他科を知る会」を公立豊岡病院、公立日高医療センターで3回（8/24、11/25、6/28）開催、会員や勤務医ら延べ30人が参加した。公立豊岡病院整形外科の三原一志先生、金子宏樹先生、同病院救命救急センターの藤﨑修先生より、整形外科、救急医療各領域の症例を多数検討した。参加した会員らから「日常診療に役に立つ」と好評を得ている。

3、診療報酬改定研究会（医科入院外、医科入院、歯科、介護）を開催（3/25）、合計106人が参加し、診療報酬改善の要請書に65署名が集まった。協会研究部と共催で医科新点数Q＆A研究会（講師：下山均先生）を開催（4/28）、28人が参加した。

4、職員接遇研修会「ケースで学ぶ患者さん対応」（講師：目白大学短期大学部学長 油谷純子 先生）を開催（5/26）、17人が参加した。

5、公立日高医療センター無床化問題で、但馬地域の医療関係者や住民などでつくる「地域医療をまもる但馬の会」が2017年度第1回総会を豊岡市民会館で開催（8/28）、地元医師の立場から谷垣正人支部長が出席した。

6、但馬地域未入会全病院に対して、現場の医事課担当者らに協会事業を直接説明した。各担当者から適時調査対策、診療報酬改定対策、日常的な点数相談活動に期待の声が寄せられ、現場から協会利用（入会）の要望を上げて頂いた。その後、公立豊岡、公立香住各病院より病院として入会申込を得た。入会各病院から、診療報酬改定研究会（但馬会場）の参加や電話問い合わせ等、日常的に利用頂いている。

7、勤務医未入会員対策として、但馬地域の11の公立私立病院長宛に谷垣正人支部長より紹介状を得て、全病院を訪問。医局での資料配布など勤務医対策に取り組んだ。

8、『2017年病医院医師名簿』を発行し、但馬地域に隣接する病院を含む全20病院を掲載、会員から要望のあった高齢者施設一覧も掲載した。但馬地域の病院・医院からは、「病診連携に役に立つ」と好評を得ている。

9、支部ニュースを2回発行し、活動の報道を行った。

10、支部幹事会は8回開催、研究会等の企画立案を行った。

## 2018年度活動報告

1、病診連携を深める取り組みとして「他科を知る会」（整形外科領域、皮膚科領域）をシリーズ企画で開催する。また、新たに公立豊岡病院但馬救命救急センターとの共催で「救急医療」ｼﾘｰｽﾞを発足する。

2、歯科会員のニーズに応える企画を開催する。また、審査問題など医科歯科一体の企画を定例化する。

3、「地域医療を考える懇談会」など、医療・介護・保健・福祉の連携を強める機会を設ける。

4、審査指導対策、労務問題、パソコンなど医院の運営に役立つテーマを取り上げ、「会員懇談会」を開催する。

5、医院経営研究会を年一回の定例企画として開催する。

6、診療現場を会場に、開業医がお互いに経験を気軽に交流できる場として「日常診療勉強会」を開催する。

7、幹事による会員訪問を行い、支部ニュース「但馬の息吹」欄で紹介していく。

8、開業情報をすばやく入手して新規開業医の100％入会を目指す。また、病院訪問とともに開業医と勤務医が一堂に集える企画を開催し、勤務医に入会を訴える。

9、支部ニュースの定期発行を目指し、親しみやすい紙面づくりを工夫する。

10、魅力ある幹事会運営に務め、若手会員の支部行事への参加を促進させる。

11、家族や従業員が気軽に参加できるような場をつくり、互いの交流を促進させる。

12、文化的な企画を積極的に取り入れ、環境・人にやさしい支部活動をめざす。

## 兵庫県保険医協会但馬支部研究会

# 専門医に聞く 開業医でここまで診てほしい

## ＜救急医療シリーズ第2回＞

**日　　時　９月１５日（土）午後３時～**
**会　　場　公立豊岡病院２階講堂**
**テ ー マ　『救急現場の症例から』（仮）**
**講　　師　公立豊岡病院救命救急センター**
**松井　大作 先生**
**共　　催　大塚製薬株式会社**

私たち開業医が診ている患者さんは、疾患の急変時や休日・夜間などの時間外には公立豊岡病院救命救急センターのお世話になります。

救急医は開業医の後医、いわば「最後の砦」であり、救急医の経験を私たち開業医に伝えてもらうことは、「怖いながらも必要」とかねてから思っていました。先日、その思いを同病院救命救急センター長の小林誠人先生にお話ししたところ、企画の趣旨に賛同頂き、「救急医療」をテーマに症例検討会を今後シリーズで開催することを確認し合いました。

前回(第1回/2017年11月25日開催)は、講師の藤﨑修先生のわかりやすい講演とウィットに富んだ多くのスライドとで、非常に楽しくかつ有意義な内容でした。

第2回は、松井大作先生にご講演をお願いしております。

多くの先生方のご参加をお待ちしております。　**【協会但馬支部長・谷垣正人記】**

兵庫県保険医協会　神戸市中央区海岸通1-2-31　神戸フコク生命海岸通ビル5階　TEL/078-393-1840

**お申し込みＦＡＸ　078-393-1802**

**参加申込書　但馬支部症例検討会・救急医療シリーズ第2回（9/15）**

病・医院名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　お名前＿＿＿＿＿＿＿＿

市区郡名＿＿＿＿　電話＿＿＿＿＿＿＿＿　ＦＡＸ＿＿＿＿＿＿＿＿